

2022年5月31日

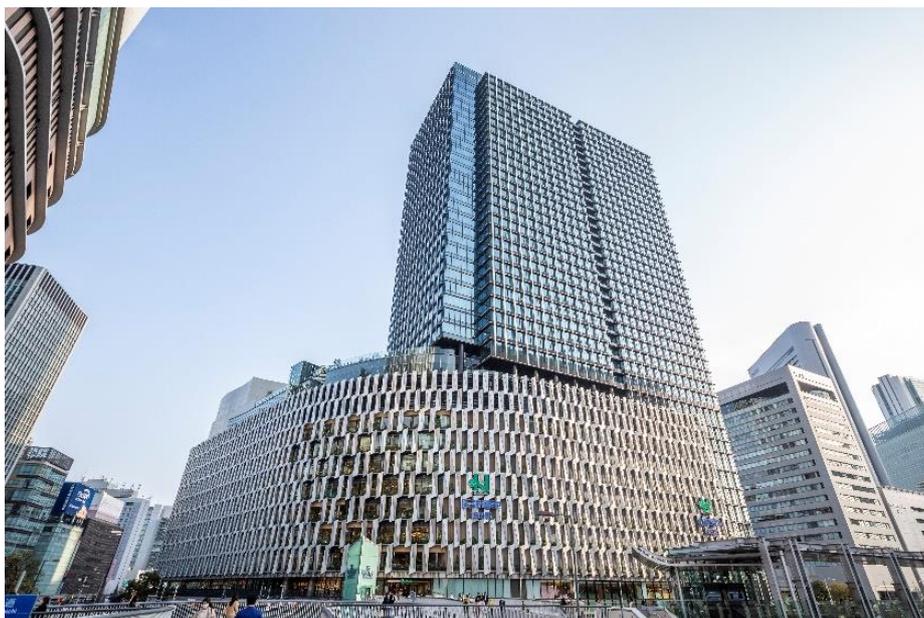
阪神電気鉄道株式会社
阪急電鉄株式会社
阪急阪神不動産株式会社

「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」が 「DBJ Green Building 認証」で最高評価(5つ星)を取得しました

先般、阪神電気鉄道株式会社と阪急電鉄株式会社(開発業務は阪急阪神不動産株式会社が担当)の両社で開発した「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」が全面開業しましたが、このたび、株式会社日本政策投資銀行が企画・運営する「DBJ Green Building 認証」において、同ビルが最高評価となる5つ星(国内トップクラスの卓越した『環境・社会への配慮』がなされたビル)を取得※しましたので、お知らせします。

※「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」は、2016年にプランニングへの認証で5つ星を取得していますが、今般、竣工を機に改めて申請を行い、5つ星を取得したものです。

阪急阪神ホールディングスグループでは、2020年5月に発表したサステナビリティ宣言をもとに、持続可能な社会の実現に向けて様々な施策を進めていますが、同宣言の重要テーマの一つである「環境保全の推進」を目指して、これからも環境配慮型建物(グリーンビルディング)の拡大に取り組んでまいります。



大阪梅田ツインタワーズ・サウス 外観

■評価いただいた主なポイント

① 建物の環境性能

- ・Low-E ガラスにより熱負荷を低減及び外装フィンにより日射を遮蔽
- ・LED 照明・氷蓄熱・コージェネレーションシステム・デシカント空調※1 等の設備機器を導入
- ・節水型の水栓及び便器を採用
- ・雨水や厨房排水を中水として利用するための処理設備を導入
- ・「平成 27 年度第 2 回サステナブル建築物等先導事業(省 CO2 先導型)」に採択
- ・「CASBEE スマートウェルネスオフィス認証 S ランク」※2 を取得

※1:乾燥剤(デシカント)で空気中の湿度をコントロールすることにより空気環境を整える空調システム

※2:一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センターが定める、オフィスビルの室内環境等を評価する認証制度(S ランクは最高位ランク)



外装フィン



② テナント・利用者の快適性

- ・カフェ・ラウンジ・フィットネス等を備えたオフィスワーカー専用のサポートフロア「WELLCO」や、カンファレンスホール「梅田サウスホール」、クリニック、託児所など、創造性豊かな仕事や多様な働き方をサポートする様々な施設を導入
- ・オフィスワーカーを対象に、企業の垣根を超えた交流や学びを促すイベント等を提供する、阪急阪神ワーカーズサービスを実施



オフィスワーカー専用のサポートフロア「WELLCO」



阪急阪神ワーカーズサービスのイベント
(他のビルでの実施例)

③ 危機に対する対応力

- ・停電時でも最大 72 時間の電力供給が可能となる自家用発電機を設置
- ・重要な基幹設備(防災センター等)の 2 階以上への配置や、地下に通じる入口部分への防潮パネルの設置など、浸水対策を実施



自家用発電機



防災センター

④ 多様性・周辺環境への配慮

- ・ユニバーサルデザインのエレベーター・トイレを設置
- ・案内サイン等の多言語化を実施
- ・エリアマネジメント活動への参加により、地域との関わりを促進
- ・屋上広場を設置
- ・「WELLCO」内に植栽を配置



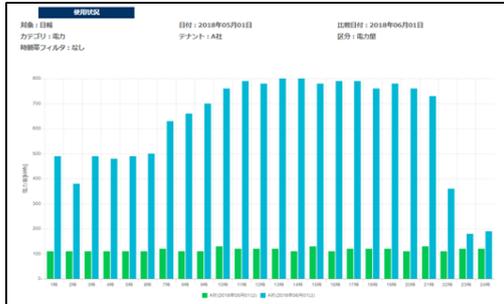
屋上広場



「WELLCO」内の植栽

⑤ ステークホルダーとの協業

テナントごとにエネルギー消費量やゴミ排出量を開示(見える化)することにより、ビル全体での省エネルギーとゴミの減量を促進



ゴミ排出量の見える化(イメージ)

■「DBJ Green Building 認証」の概要

株式会社日本政策投資銀行が 2011 年 4 月から開始した、環境や社会に配慮した不動産を評価する認証制度です。環境・社会的側面が評価される不動産金融市場が、本認証を通じて整備・育成されることを目指しています。

具体的には、次の 5 つの視点により、評価は「1 つ星」から最上位の「5 つ星」までの 5 段階で行われており、環境性能のほかに、オペレーション面も評価されることが特徴です。

- ① 建物の環境性能
- ② テナント・利用者の快適性
- ③ 危機に対する対応力
- ④ 多様性・周辺環境への配慮
- ⑤ ステークホルダーとの協業

以上